

貨物駅構内におけるフォークリフト稼働台数の評価手法

田中峻一

コンテナ輸送を取り扱う貨物駅構内では、フォークリフトをはじめとする荷役機器によりコンテナの積卸しが行われています。フォークリフトの駅に配置される台数や稼働台数は、貨物駅の形状や作業量の波動等を考慮して決定されています。しかし、配置台数に過不足がないか、稼働台数が妥当であるかということを合理的に把握することは難しく、適切なリソース配分が行われているかを確認することはされてきませんでした。そこで、貨物駅におけるフォークリフト作業を模擬するシミュレーターを開発し、フォークリフトの稼働台数が荷役作業にどのような影響を与えるのかを分析することを可能としました。顧客満足度の観点

から運送会社のトラックの荷役作業を待つ時間に注目し、実際の貨物駅での荷役作業に基づいてシミュレーションから算出された理想的な稼働台数と実際の台数を比較することで、稼働台数が適切であるかを検討できます。

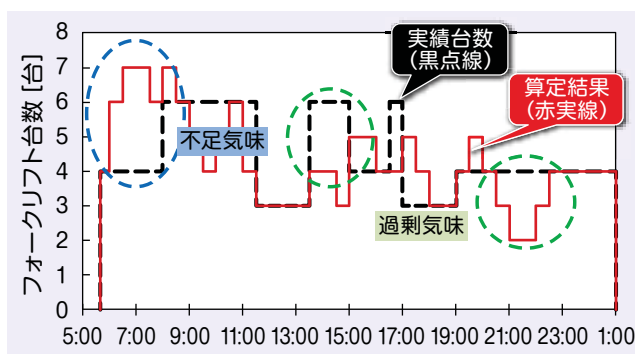


図 フォークリフト稼働台数の評価例